

僕は赤団の団長になり、100人近くの人  
数を引っ張った。赤団はどんな行事も1位を  
とるという目標を作った。だから、まずこの  
応援コンクールで優勝しようと、夏休みから  
みんなが必死になって頑張った。僕も優勝す  
るためと思って、みんなに厳しい言葉をかけ  
てしまったけど、みんな文句一つ言わずつい  
てきてくれた。結果は優勝をとれなかったけ  
ど、赤団の応援が一番だと今でも思っている。  
この悔しさを胸に、合唱コンクールで優勝し  
たい。

赤団団長



僕は3年間団長を務めました。その中でも、  
この最後の体育大会は特別なものとなりました。  
悔しかったことは青団が何一つ賞を取  
ることができなかったことです。うれしかった  
ことは、賞は取れなかったけど、1.2年の  
時は応援コンクールで優勝できなくても泣け  
なかったのに、今年はたくさん涙を流したこ  
とです。それだけ青団が僕を本気にさせてく  
れたのです。青団のみんな、本当にありがと  
うございました。

青団団長



僕は黄団の団長になれて本当によかったと  
思っています。応援コンの練習では筋肉痛に  
なりながらも細かいところを練習し、声も出  
し、楽しくできていました。しかし、全力を  
出し切った本番では優勝をつかみ取ることが  
できませんでした。でも、応援コン後の長縄  
から黄団の強さを見せつけ、リレーではみん  
なで応援し、圧倒的な勝利となり、団全員で  
総合優勝をつかみ取りました。こんな団初め  
てです。黄団のみんなありがとう。

黄団団長



僕はこの体育大会を終えて、あらためて団  
の団結を実感することができました。応援の  
練習ではなかなかまとまらず、声も出せてい  
ない時も多くあったけど、本番では今までで  
一番大きな声で応援することができました。  
また、競技中の応援では、仲間のために全力  
で応援やダンスをしてくれました。そして、  
時間がたつにつれてみんなが自然と笑顔にな  
ることができました。今後も桃団の団結力を  
見せられるよう、行事では団の一員を意識し  
て取り組みます。桃団団長

